

(宮崎県商工会議所連合会 共同事業)

# 宮崎県内企業景況調査報告書

## 2026年1月～3月期

### 第120回

宮崎県商工会議所連合会

(幹事:宮崎商工会議所)

# 目 次

1. 実施概要
2. 調査結果(DIの推移)
3. 概況
4. 県内の景気動向
  - (1)前期比 令和7年10月～12月比
  - (2)前年同期比 令和7年1月～3月比
  - (3)来期見通し 令和8年4月～6月見通し
5. 業種別の景気動向
  - (1)製造業
  - (2)建設業
  - (3)卸売業
  - (4)小売業
  - (5)サービス業(飲食関連・観光関連を含む)
6. 経営上の問題点
7. 今後の対応策
8. 国・県等への要望

## 1. 実施概要

### (1) 回答率

調査対象企業数	500社
回答企業数	86社
回答率	17.2%

(業種別)

製造業	27社
建設業	19社
卸売業	7社
小売業	15社
サービス業	18社
合計	86社

### (2) 調査対象月

2026年1月～3月期

### (3) 調査依頼期間

2026年3月27日(金) ～ 2026年4月15日(水)

### (4) 調査内容

調査対象の第4四半期の前期比、前年同期比及び来期見通しについて、売上高（出荷額・受注額）、採算（経常利益ベース）、資金繰りの状況、仕入れ単価（資材、原材料、商品）、雇用（労働力）状況（パート含む）、設備投資計画、業況の項目ごとに景況感を調査した。

### (5) 調査対象

県内9つの商工会議所（宮崎・都城・延岡・日向・高鍋・日南・小林・串間・西都）の地域の実情を考慮して、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種で合計500社を調査対象とした。

### (6) 調査方法

県内9商工会議所において、それぞれの地域の調査対象企業へ調査票を送付し、回答をFAX等で返信していただき、それぞれの商工会議所で行った調査結果を宮崎商工会議所経営指導部が集約して、集計分析を行った。

## 2. 調査結果(DI)

DIとは（景況判断指数）とは

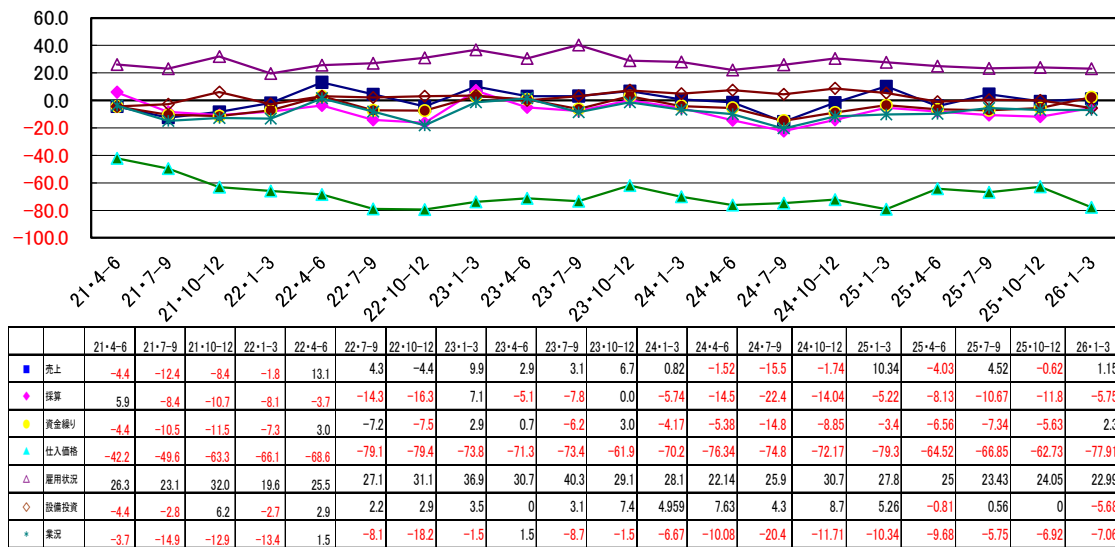
DIは、売上・採算・資金繰り・仕入価格・雇用状況・設備投資・業況などの各項目についての、判断状況を表します。

ゼロを基準として、プラス値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味します。

売上DI	=	(増加回答の割合)	—	(減少回答の割合)
採算DI	=	(好転 " )	—	(悪化 " )
資金繰りDI	=	(好転 " )	—	(悪化 " )
仕入価格DI	=	(下落 " )	—	(上昇 " )
雇用状況DI	=	(不足 " )	—	(過剰 " )
設備投資DI	=	(拡大 " )	—	(減少 " )
業況DI	=	(好転 " )	—	(悪化 " )

## 2. 調査結果 (DI)

前年同期比(全企業DIの5か年の推移)



## 3. 概況

### (1) 今期の特徴

今期は、売上、資金繰りのDI値が好転を示した一方で、前期と同様、材料費や仕入価格の高騰の影響を受けているという企業が多かった。イラン情勢の影響があるため、前倒して資材を調達する等の対応をしているが、厳しい状況が続いているという声があった。その一方で、適切な価格転嫁を実施し、利益を確保できているというコメントも見られた。

### (2) 来期の見通し

来期の見通しは、今期に引き続き物価高が続くため、厳しい状況が続くと推測する企業が多くあった。また、不安定な中東情勢の影響で、仕入価格の高騰に加えて、材料入荷の遅れによる受注数の減少を懸念するコメントがあった。

### (3) 経営上の問題点

1位「原材料(仕入単価)価格の上昇」、2位「需要の停滞」、3位「人件費の増加」、4位「従業員の不足」、5位「原材料・人件費以外の経費の増加」という結果になった。

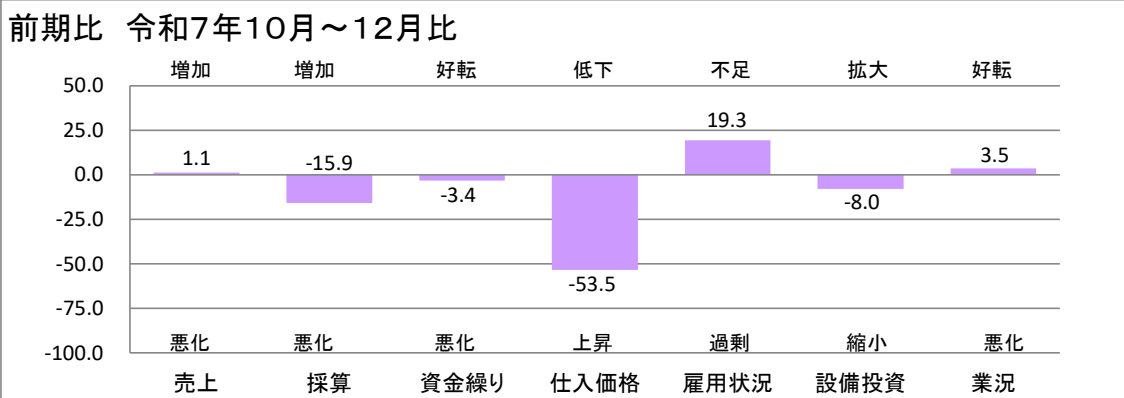
### (4) 今後の対応策

1位「生産性を向上させたい」、2位「従業員を新規雇用したい」、3位「新規市場を開拓したい」、4位「その他の合理性を実施したい」、5位「その他(例:価格転嫁)」という結果になった。

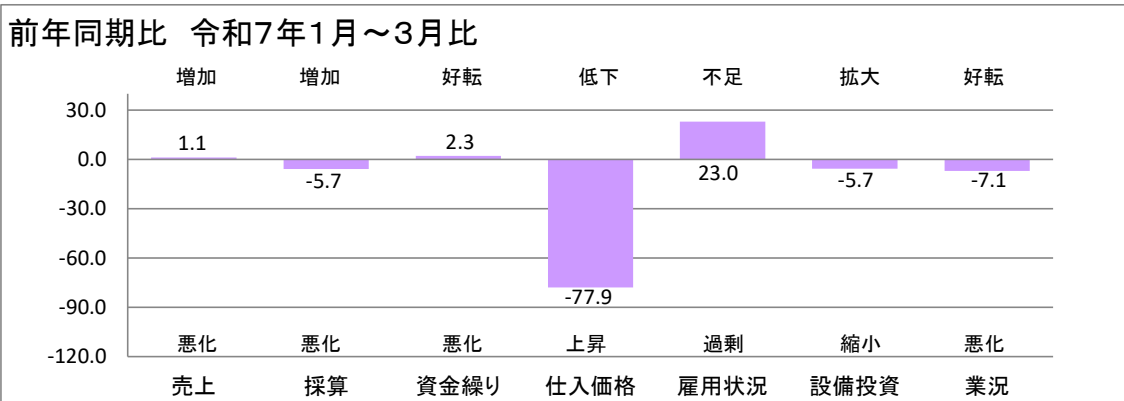
### (5) 総括・分析

全業種を通じて、原材料や石油価格の上昇の影響を受けているという企業が多く見られた。今後も中東情勢を注視していくというコメントがあった。また、卸売業(前年同期比)は、すべての項目の値がマイナスになっており、物価高騰による消費者の買い控えで、売上が落ち込んだというコメントが見られた。

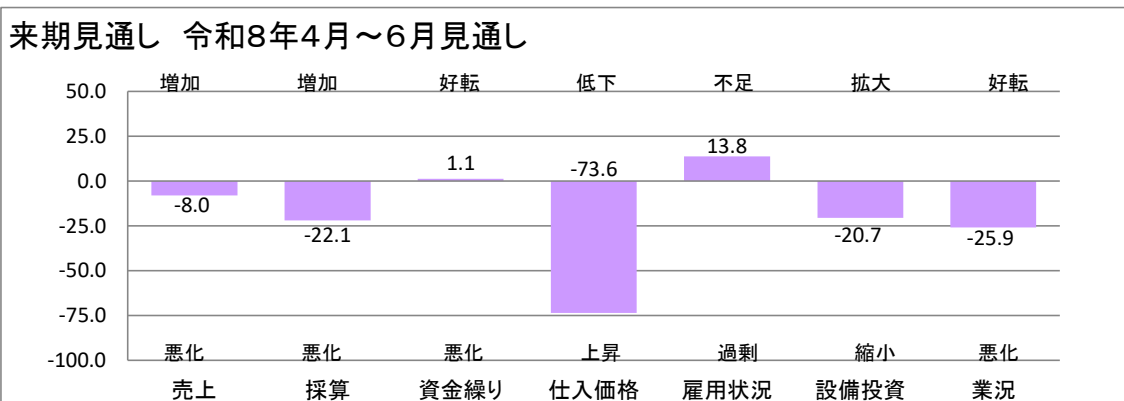
#### 4. 県内の景気動向(全業種)



前期比は、売上DIはわずかに増加、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは好転となった。建設業、卸売業は採算が大幅に悪化したという回答であった。また、すべての業種において雇用が不足しているという結果になった。卸売業では、業況DIが悪化しており、中東情勢の影響を直に受けているというコメントが見られた。



前年同期比は、売上DIはわずかに増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。特に、小売業では仕入価格DIのポイントが全業種の中で一番上昇していた。原材料費や輸送費、人件費等の経費の増加によって、利益は減少傾向にあるというコメントがあった。

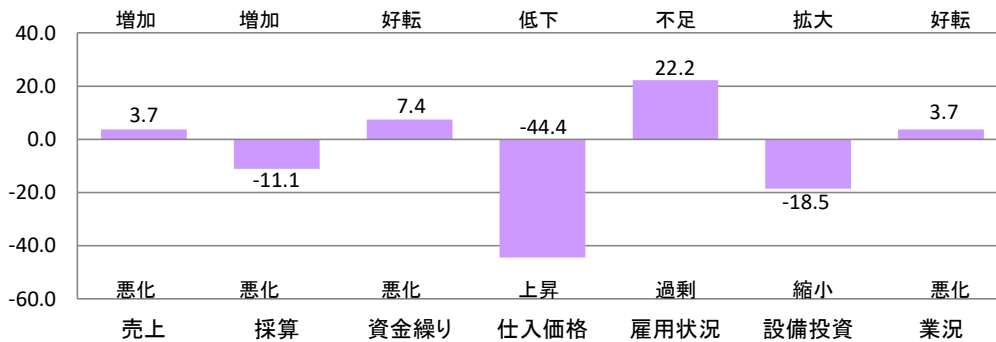


来期見通しは、売上DI、採算DIは悪化、資金繰りDIはわずかに好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。海外の経済動向に左右されると回答した企業が多く、材料の高騰や資材入荷の遅れが発生する可能性があるというコメントもあった。

## 5. 業種別の景気動向

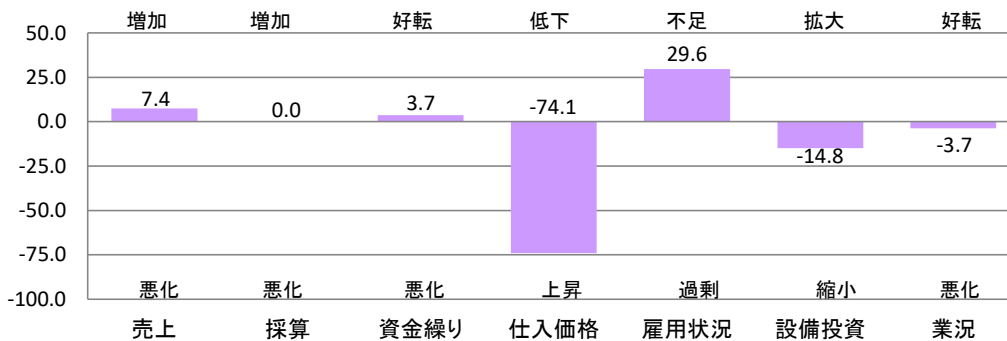
### (1) 製造業

前期比 令和7年10月～12月比



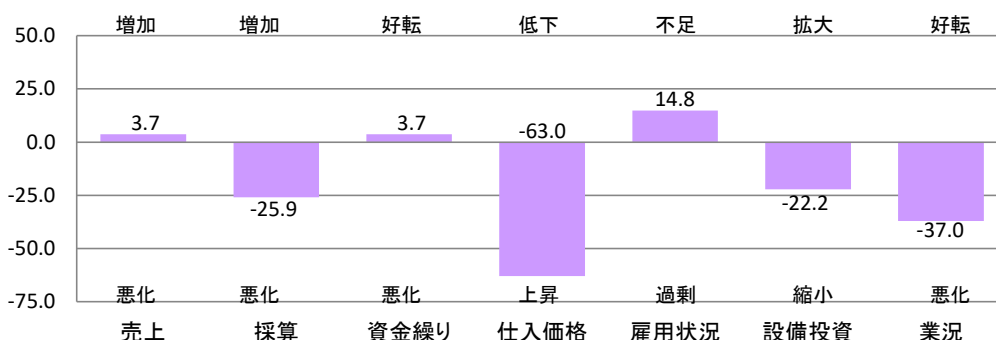
前期比は、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは好転となった。年度末であったため、案件が増加したという企業があった一方で、原材料や人件費の高騰によって業況が悪化したという回答も見られた。

前年同期比 令和7年1月～3月比



前年同期比は、売上DIは増加、採算DIは0、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。物価高による原材料費・輸送費の高騰や、消費の低迷によって厳しい状況が続いているという回答が見られた。また、製品の値上げを行っているが、それ以上に物価の高騰が続いていて、原価率が悪化しているという企業もあった。

来期見通し 令和8年4月～6月見通し

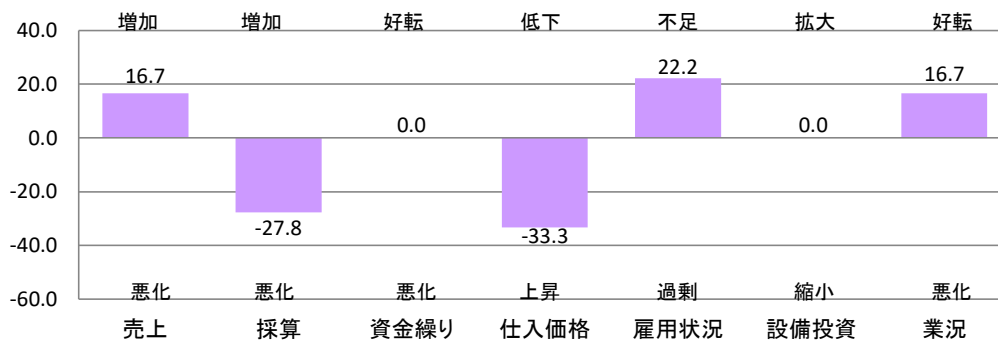


来期見通しは、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。仕入材料の値上げの通知が来ており、今後も厳しい状況が続くと予想する企業が多く見られた。また、中東情勢が不安定なため、材料の高騰や入荷の遅れが発生する可能性があるという推測するコメントもあった。

## 5. 業種別の景気動向

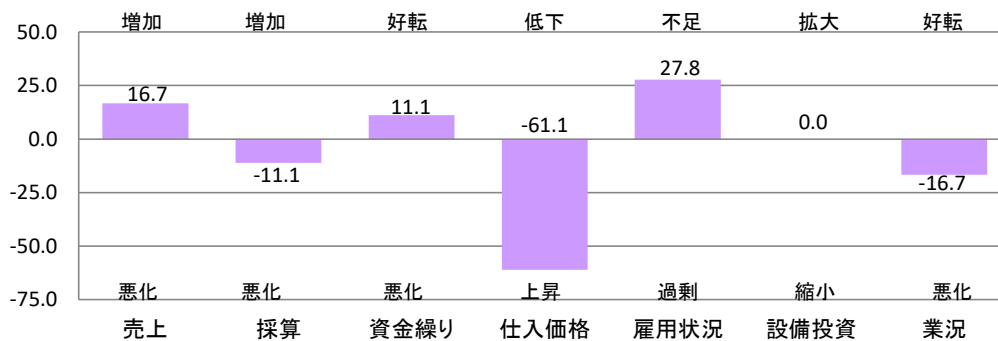
### (2) 建設業

前期比 令和7年10月～12月比



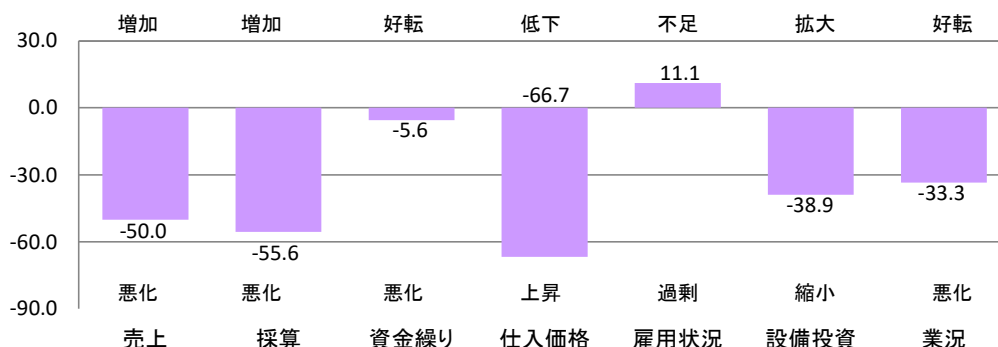
前期比は、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは0、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは好転となった。数年前からの材料費や燃料費の高騰によって、消費者の買い控えが続いているというコメントが見られた。また、他社との競争の激化が業況を圧迫しているという回答もあった。

前年同期比 令和7年1月～3月比



前年同期比は、売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは悪化となった。受注件数の減少に伴い、経常利益が悪化したというコメントがあった。その一方で、原材料の価格が上昇しているが、価格転嫁を実施しているため業況に大きな変化はないという企業もあった。

来期見通し 令和8年4月～6月見通し

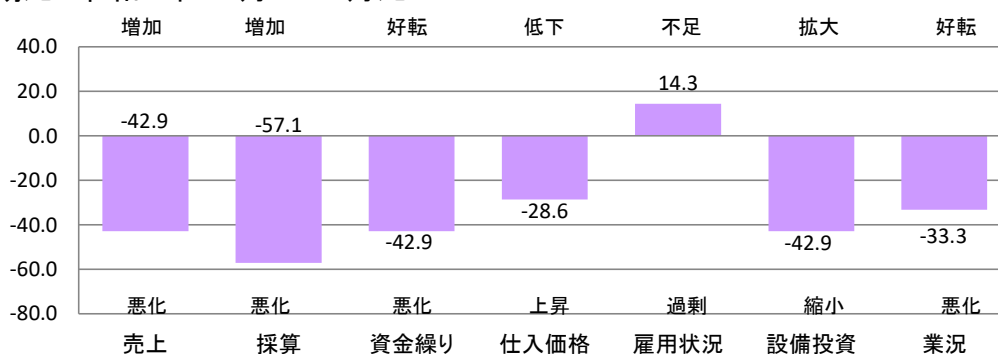


来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。時期的要因で受注数が減少するため、厳しい状況が続くと推測する回答があった。また、今後も資材の値上げが懸念されるため、早めに資材調達をするように心がけるといふ企業も見られた。

## 5. 業種別の景気動向

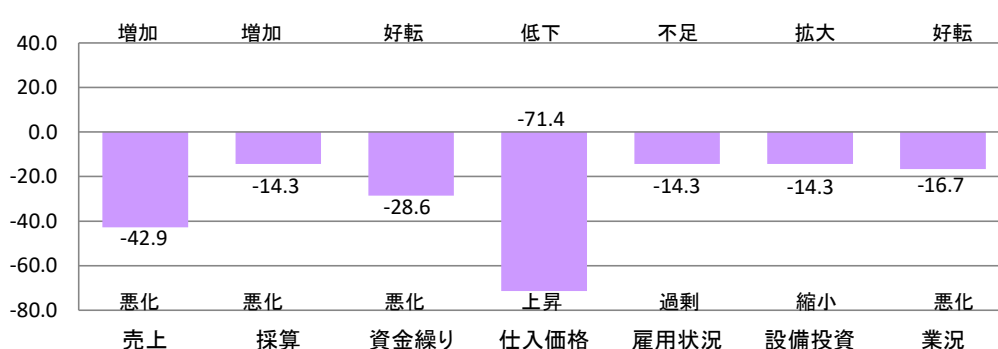
### (3) 卸売業

前期比 令和7年10月～12月比



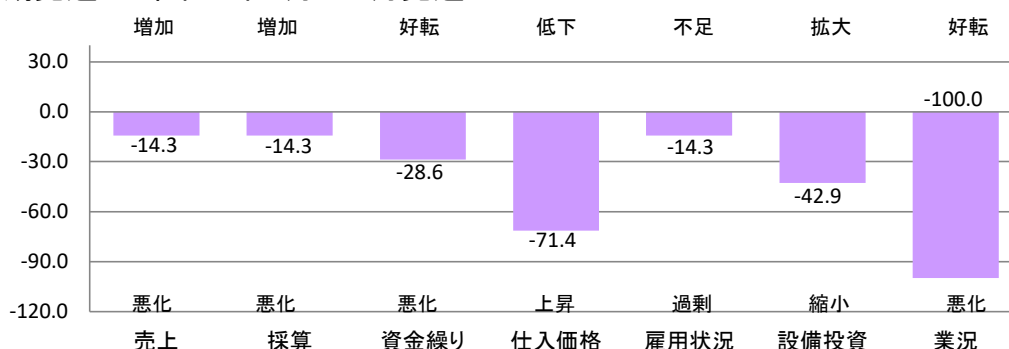
前期比は、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは縮小、雇用状況DIは悪化となった。商品の価格転嫁はできているが、売上が変わらないという企業があった。また、コロナ禍以前と比較して、売上が大幅に減少しており、コロナ禍以前の水準まで業況が回復することは見込めないのではないかという声もあった。

前年同期比 令和7年1月～3月比



前年同期比は、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは過剰、設備投資DIは縮小、業況DIは悪化となった。設備投資や保険・人件費等の固定費が増加したという回答があった。また、消費者ニーズの多様化で取り扱う商品の種類が増加したため、より多くの手間がかかるようになったというコメントも見られた。

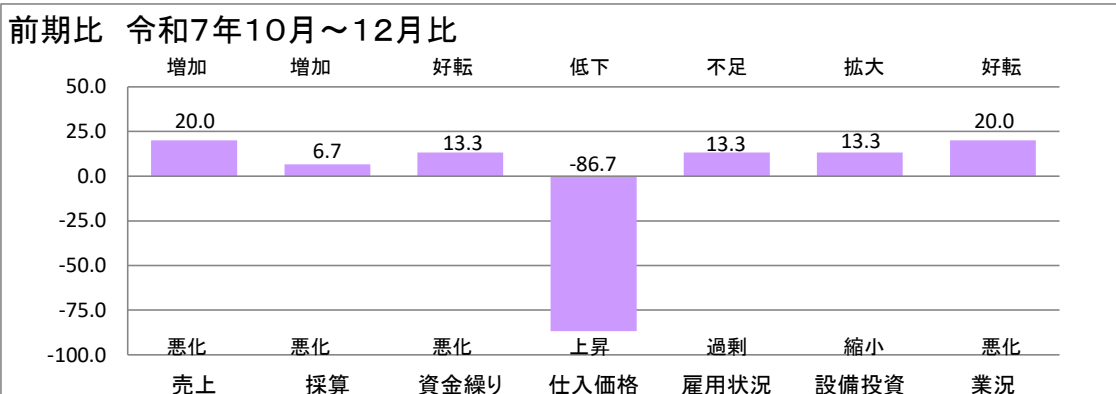
来期見通し 令和8年4月～6月見通し



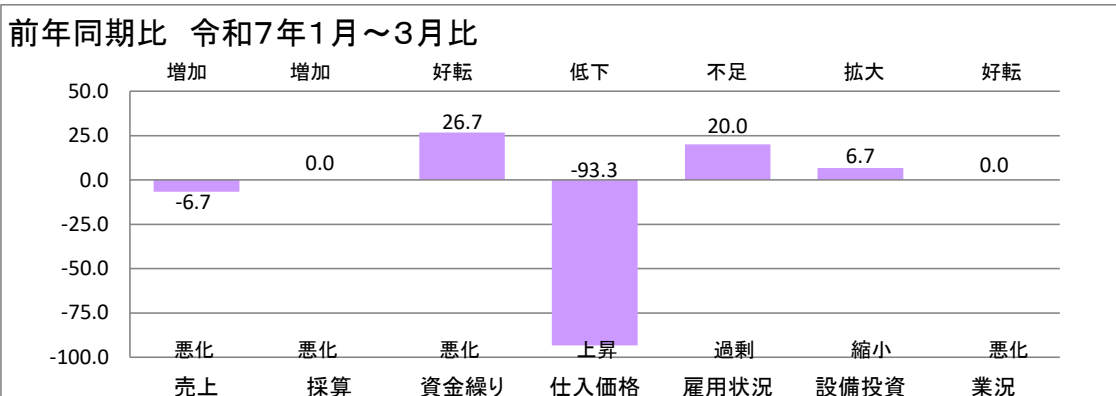
来期見通しは、売上DI、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは上昇、雇用状況DIは過剰、設備投資DIは縮小、業況DIは大きく悪化となった。物価高騰支援券の発行により、順調に進捗しているという回答があった。その一方で、国際情勢が不安定なため先行きが不透明であり、石油価格の動向を注視するというコメントが見られた。

## 5. 業種別の景気動向

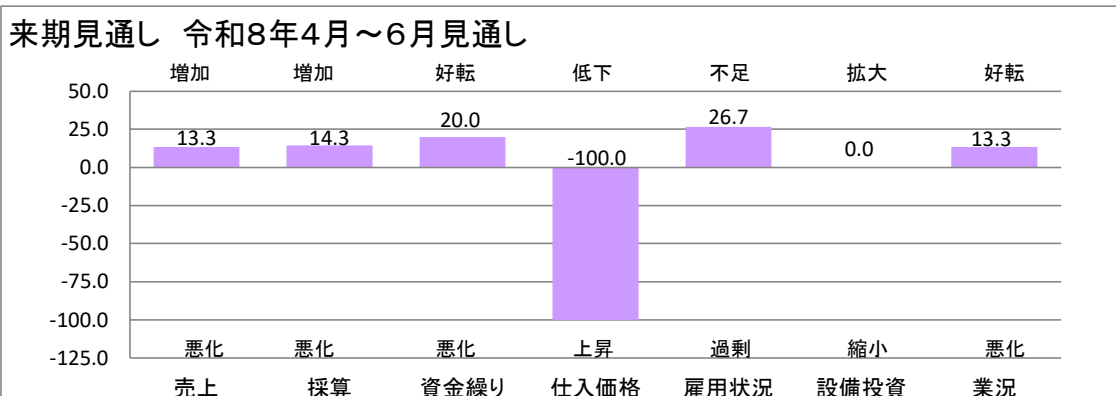
### (4) 小売業



前期比は、売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転となった。販売価格の上昇による消費者の買い控えの影響を受けているという回答があった。また、飲食料点小売業では、海外輸出事業が好調だというコメントも見られた。



前年同期比は、売上DIは悪化、採算DIは0、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは0となった。物価高による消費者の買い控えの影響で、注文数が減少しているというコメントが見られた。また、毎月仕入価格が上昇しており、石油価格の問題でさらに厳しい状況が続いているという企業もあった。

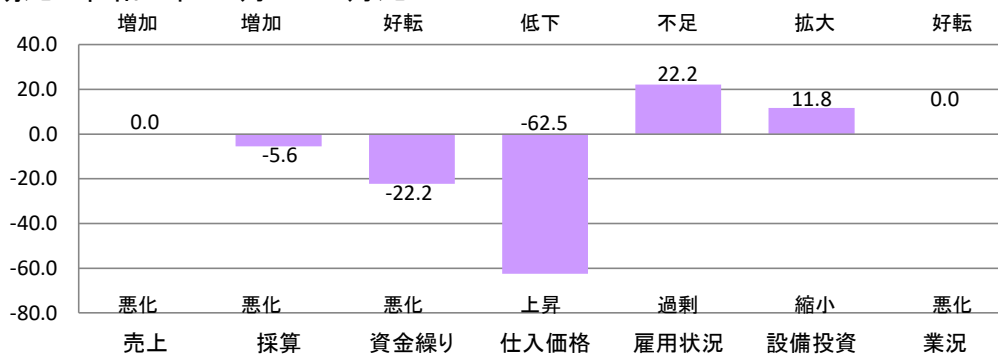


来期見通しは、売上DI、採算DIは増加、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは0、業況DIは好転となった。夏に向けて受注の増加を期待する一方で、仕入価格の高騰や不安定な国際情勢による経営の悪化を懸念する声もあった。

## 5. 業種別の景気動向

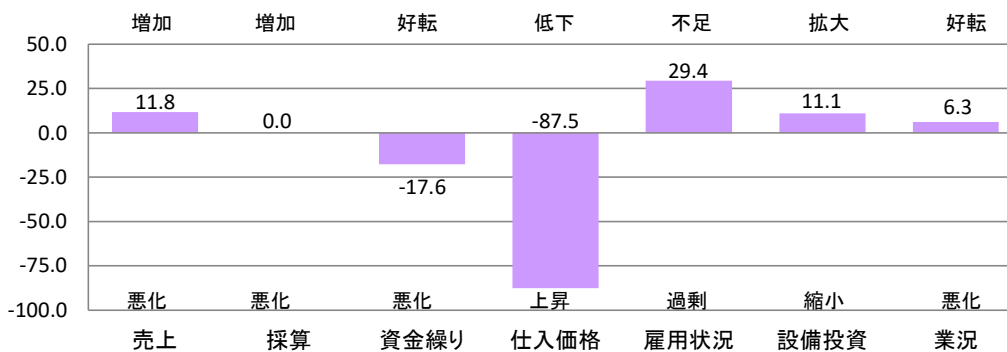
### (5) サービス業

前期比 令和7年10月～12月比



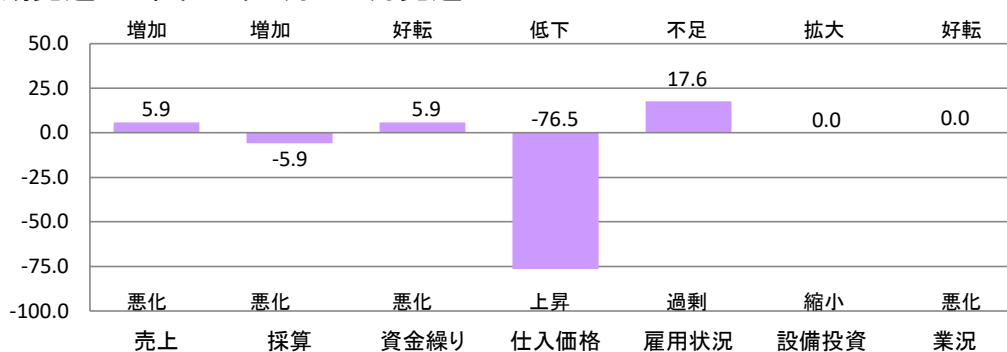
前期比は、売上DIは0、採算DI、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは0となった。業界によっては、時期的要因によって需要が増加しているという回答が見られた。また、レンタカー業界では、インバウンド顧客層の事故が多発しているというコメントがあった。

前年同期比 令和7年1月～3月比



前年同期比は、売上DIは増加、採算DIは0、資金繰りDIは悪化、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DIは拡大、業況DIは好転となった。売上は横ばいだが、仕入価格が上昇しているため、厳しい業況が続いているという声があった。また、業務拡大にあたって設備投資に注力したため、資金繰りが悪化しつつあるというコメントも見られた。

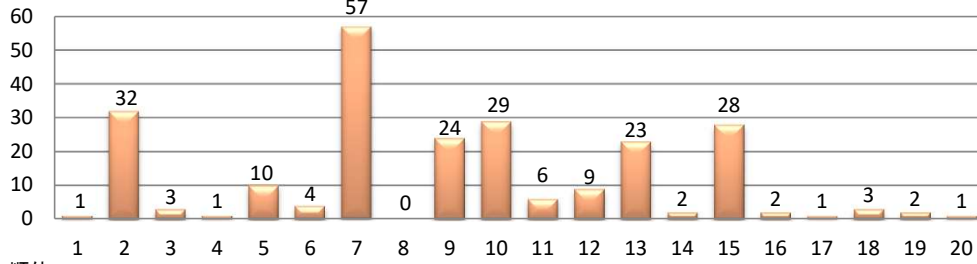
来期見通し 令和8年4月～6月見通し



来期見通しは売上DIは増加、採算DIは悪化、資金繰りDIは好転、仕入価格DIは大きく上昇、雇用状況DIは不足、設備投資DI、業況DIは0となった。来期は、体育館の完成や国スポの開催に向けたイベント等があるため、多少の業況の回復は見込めるというコメントがいくつか見られた。また、どの業種においても値上がりが続いているため、同業他社との価格競争になることを懸念する声もあった。

## 6. 経営上の問題点

### 全業種



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

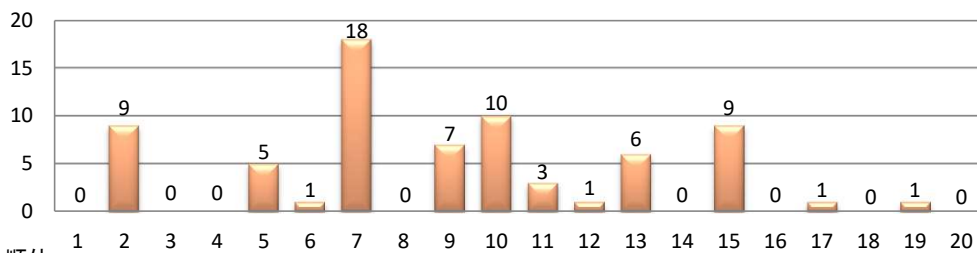
4位 従業員の不足

2位 需要の停滞

5位 原材料・人件費以外の経費の増加

3位 人件費の増加

### 製造業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

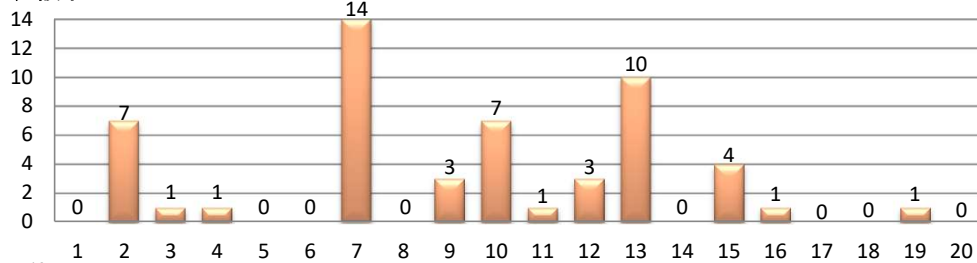
3位 需要の停滞

2位 人件費の増加

3位 従業員の不足

5位 原材料・人件費以外の経費の増加

### 建設業



順位

1位 原材料(仕入単価)価格の上昇

3位 需要の停滞

2位 熟練技術者(従業者)の不足

3位 人件費の増加

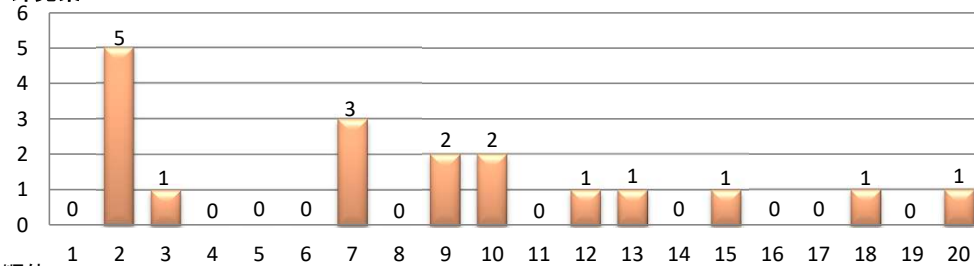
5位 従業員の不足

### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 円高による海外製品との競争激化    | 20. 代金回収の悪化  |

## 6. 経営上の問題点

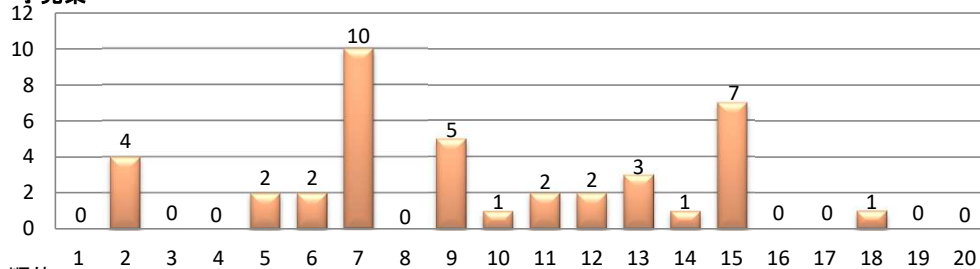
### 卸売業



順位

- |                   |                    |
|-------------------|--------------------|
| 1位 需要の停滞          | 3位 原材料・人件費以外の経費の増加 |
| 2位 原材料(仕入単価)価格の上昇 | 3位 人件費の増加          |

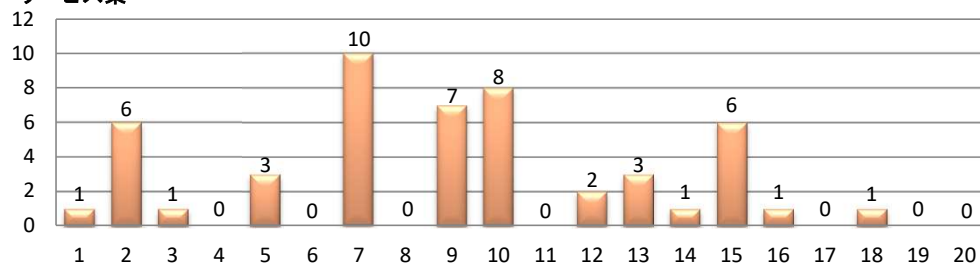
### 小売業



順位

- |                    |                  |
|--------------------|------------------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇  | 4位 需要の停滞         |
| 2位 従業員の不足          | 5位 熟練技術者(従業者)の不足 |
| 3位 原材料・人件費以外の経費の増加 |                  |

### サービス業



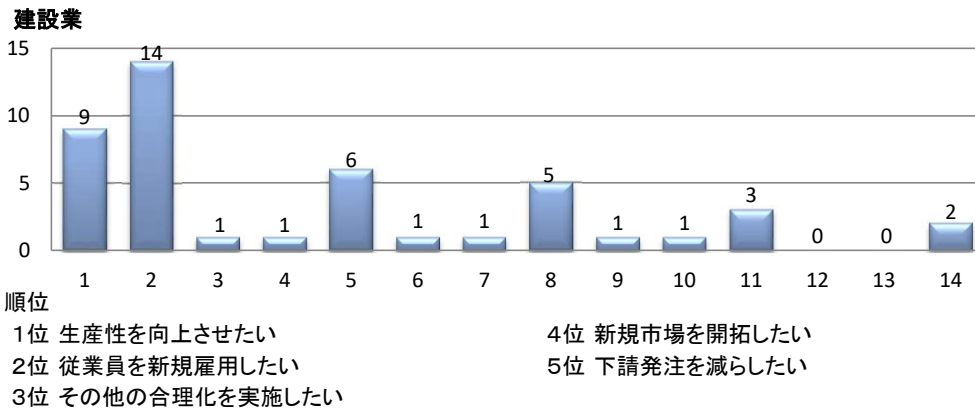
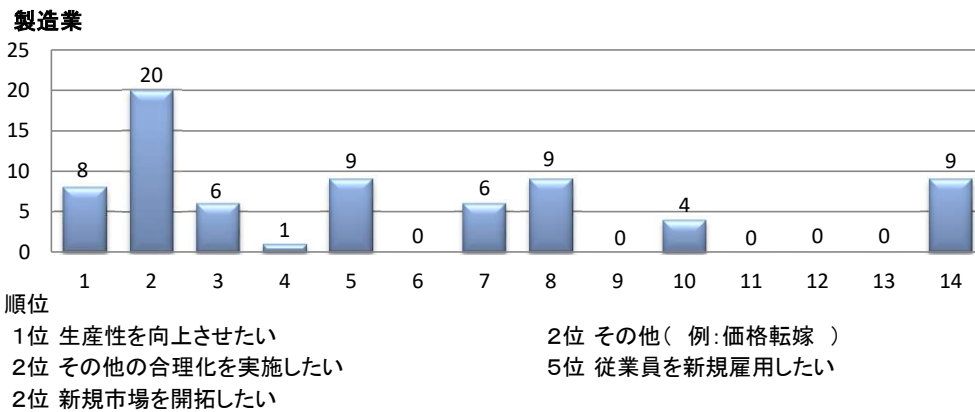
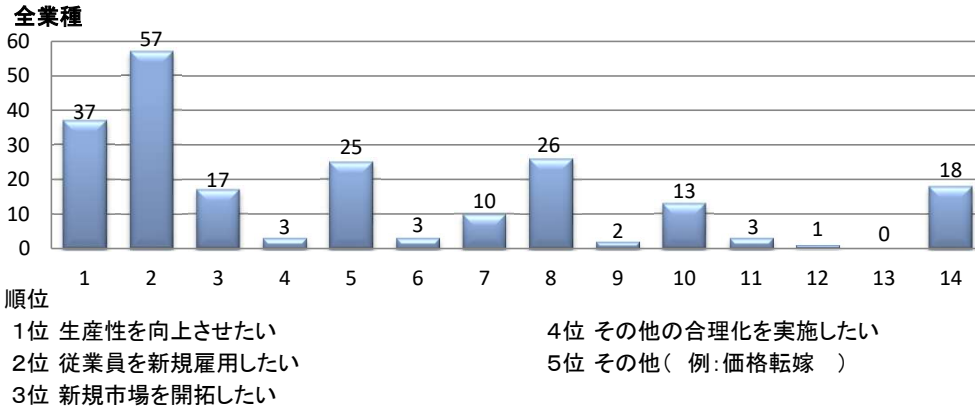
順位

- |                    |           |
|--------------------|-----------|
| 1位 原材料(仕入単価)価格の上昇  | 4位 需要の停滞  |
| 2位 人件費の増加          | 4位 従業員の不足 |
| 3位 原材料・人件費以外の経費の増加 |           |

### 【項目一覧】

- |                        |              |
|------------------------|--------------|
| 1. 県外大手企業の進出による競争の激化   | 2. 需要の停滞     |
| 3. 県内大手企業の事業展開による競争の激化 | 4. 新規参入業者の増加 |
| 5. 生産設備の不足・老朽化         | 6. 製品ニーズの変化  |
| 7. 原材料(仕入単価)価格の上昇      | 8. 生産設備の過剰   |
| 9. 原材料・人件費以外の経費の増加     | 10. 人件費の増加   |
| 11. 製品(販売)単価の低下・上昇難    | 12. 原材料の不足   |
| 13. 熟練技術者(従業者)の不足      | 14. 金利負担の増加  |
| 15. 従業員の不足             | 16. 事業資金の借入難 |
| 17. 商品在庫の過剰            | 18. 取引条件の悪化  |
| 19. 為替相場による海外製品との競争激化  | 20. 代金回収の悪化  |

## 7. 今後の対応策

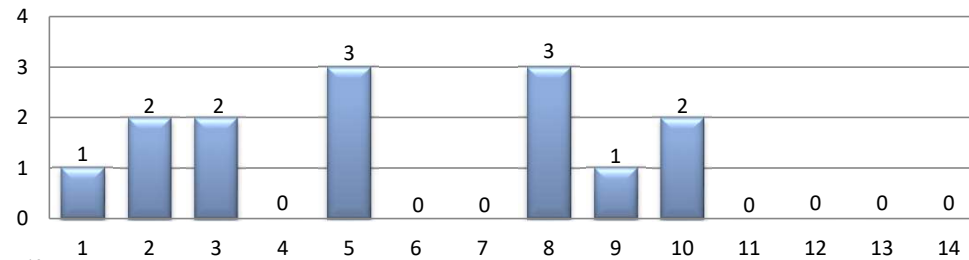


### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 7. 今後の対応策

### 卸売業



順位

1位 その他の合理化を実施したい

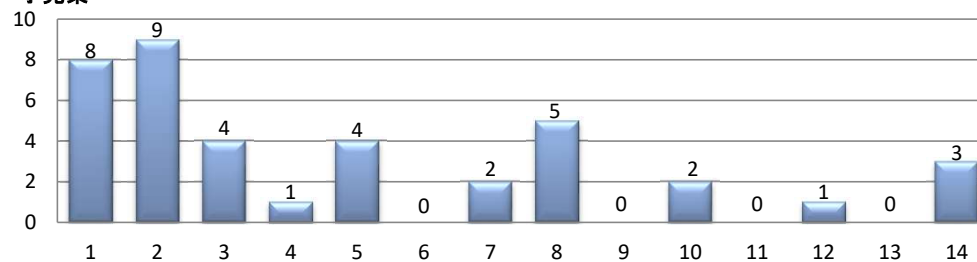
3位 生産性を向上させたい

1位 新規市場を開拓したい

3位 人件費を削減したい

3位 経営の多角化を行いたい

### 小売業



順位

1位 生産性を向上させたい

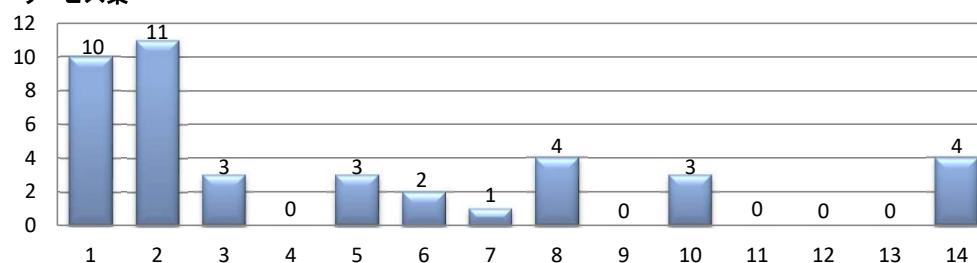
4位 人件費を削減したい

2位 従業員を新規雇用したい

4位 その他の合理化を実施したい

3位 新規市場を開拓したい

### サービス業



順位

1位 生産性を向上させたい

5位 人件費を削減したい

2位 従業員を新規雇用したい

5位 その他の合理化を実施したい

3位 新規市場を開拓したい

5位 経営の多角化を実施したい

3位 その他(例:価格転嫁)

#### 【項目一覧】

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1.従業員を新規雇用したい               | 2.生産性を向上させたい        |
| 3.人件費を削減したい                 | 4.生産調整を行いたい(操業短縮など) |
| 5.その他の合理化を実施したい(製造工程の簡素化など) | 7.新製品の開発を行いたい       |
| 6.金融機関から資金を調達したい            | 9.業種転換を行いたい         |
| 8.新規市場を開拓したい                | 11.下請け発注を減らしたい      |
| 10.経営の多角化を行いたい              | 13.海外から原料・部品を調達したい  |
| 12.海外へ生産拠点を移したい             |                     |
| 14.その他                      |                     |

## 8. 国・県等への要望

業種名	事業内容	地域	国・県等への要望
製造業	製材・チップ	都城	原油、電気料、人件費など原価の上昇が早くて大きいのに価格転嫁できない。
建設業	建設業	都城	建設業法・取適法の改正施行になって労務費のコストupがついて回っています。また、イラン戦争が続くと材料、物流コストupになり景気を圧迫します。行政には、公共工事での景気対策公共工事増額を期待します。
製造業	ラベル・シール印刷	都城	材料、光熱費、人件費いずれも増加傾向にあり合理化が必要。
サービス業	衣料品販売業	都城	物価高騰で衣料品にかかる優先度は低い、もしくはファストファッションに流れる。給料が上がっても、可処分所得が増えないと意味なし。減税で経済活性化。
小売業	総合小売業	都城	2月～4月に支給される市民への支援券など、ガソリンを含む物価の高騰に対して、有効な支援策だと思います。今後もよろしくお願いします。
製造業	寝具製造卸	都城	今のこの物価高の状況は、仕入値がより商品の値段も上げざるを得ない環境です。買い控えの中、戦力となる社員を入れて、これから新しく魅力ある商品開発に力を入れていきます。

小売業	飲食料品小売業	都城	情勢不安は心配。中東向けは多くはないがストップしている。早く安定してほしい。
サービス業	飲食業	宮崎	過去2月は北海道や東北から多くのゴルフ客が来県していたが、近年、キャンプ時のホテル代が高過ぎるため、全く来なくなった。行政を通じて各ホテルに強く指導を要望したい。例えば通常1泊6～7千円の部屋がピーク時には5～6万円で販売されているが、価格に見合ったホテルではないため宮崎県民として恥ずかしい思いである。結果、多くの客が午後4時過ぎには付近のスーパーで弁当を買ってホテルで食べるという現象が起きている。ホテル側に価格について強制力はないが、指導はできるはず。また同時に宿泊客に飲食の補助を検討してほしい。ダイナミックプライシングは全国的な流れなのは承知しているが、どこかで歯止めをかける必要がある。
サービス業	レンタカーリース	宮崎	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減税(所得税、消費税)</li> <li>・補助金、給付金の支給</li> <li>・低金利政策の維持</li> </ul>
サービス業	ショッピングセンター運営	宮崎	光熱費の補助。
建設業	電気工事、電気通信工事	宮崎	地域創生を推し進め、地域からの人口流出を止めて欲しい。
製造業	総合印刷	宮崎	5月より用紙価格の値上げが実施される。商品価格の大半を占める用紙代は利益率に大きく影響し、原材料高騰による価格転嫁も思うように進まない中、非常に困惑している。

製造業	電気機械器具製造業	延岡	為替変動リスクや原油高対策。設備投資における補助金や税制優遇の拡充と手続きの簡素化。地方の中小企業に対する人材採用支援。
建設業	電気工事	延岡	イラン情勢の不透明により原材料が上昇していくことが懸念される。先行きの見えないことが心配であります。
サービス業	総合コンサルティング	日南	エネルギー政策、金利政策、外交等大変な局面を迎えていますが、改めて日本国の安定した制度設計に関心しています。政治も行政も大変かと思いますが、経済を伸ばすのは我々民間なので頑張ります。
小売業	工芸品販売	日南	世界情勢から見ても、早急な景気回復は難しいかと思うが、予算の使いみち等、精査し本当に支援が必要な所に予算を有効活用して貰いたい。
建設業	建設業	日南	下請法が取適法として改正されましたが、適正な運用に向けて行政の監視が重要であると思います。中小、零細企業の賃上げがなければ、景気上昇は見込まれないと思います。
サービス業	廃棄物処理業	日南	計画的に価格の改定を行っていくが、行政も物価、人件費の上昇に気を配って適正な価格で発注して頂きたい。

建設業	土木建設業	日南	公共工事等への予算確保。
建設業	測量業	日南	公共事業予算の増大と安定した発注率。
卸売業	酒類卸売業	日南	地方から住民も産業も減少していくことに対して、行政は何らかの効果的な手段を執って欲しい。
製造業	木材加工業	日南	税金が高いにつきます。
小売業	家電販売	日南	人手不足は深刻なので、その解消のためにも地域創生を推し進めてほしい。ただ、宮崎の地方創生は食と観光に偏っているように感じるので音楽・ファッション・サブカルチャーなど若者にも目を向けた地域活性化を官民で連携して進めていけたらと考えている。
製造業	コンクリート製品	日南	中東情勢問題の早期解決。

小売業	調剤・医薬品販売	西都	物価の上昇等で消費者の購買動向が鈍っているように感じる。
サービス業	クリーニング業	西都	材料等が40%値上げや材料の買い占めなどもあり、大変厳しくなっている。
サービス業	写真業	西都	消費税廃止、こどもの出生率を増やす、結婚応援サービス、学校など統廃合したら市内には人口が増えるが地域の過疎化が一気に進み全体的にはマイナスになってしまう。地域に人が集まり、地域に子どもが増える政策が必要だと思います。
卸売業	お茶・しいたけ	西都	戦争に伴うガソリン価格上昇の影響は6ヶ月後に出てくるとの報道(NHK討論番組)があったので、急激な変化を避けるための効果的な対策をタイムリーに打って欲しい。
小売業	食品小売業	高鍋	社会保険料の事業者負担が年々増加している。人件費負担を大きく圧迫しており、賃上げの原資確保が困難である。
製造業	医療機器製造	日向	中東情勢の影響による原材料費高騰に対する補助を検討してもらいたい。
卸売業	酒類・食品卸売	日向	消費者の購買力がまだまだ低いため、消費税減税を行うと同時に複数税率をなくしてほしい。また食品の消費税0%は、飲食店の倒産を増やすため絶対に反対。

サービス業	飲食業	日向	人件費や原材料の高騰は気になるところではあるが、食品の消費税0%案は、ますます外食控えにつながり、事業者の消費税負担も多くなるのでやめてもらいたい。
卸売業	建築木材製品販売	日向	住宅の分野へのテコ入れをしてほしい。住宅の価格が上がリ、自宅へ手が届かない。人件費を上げられるのは大企業だけで、中小企業はその土俵にも上がれないが、メディアがあまりすぎでは無いでしょうか？社員はすべてを鵜呑みにします。
製造業	製材業	日向	先行きが不透明すぎて、1カ月後の動向も見えない。まずは経済活動がとまる事に無いように助力頂きたい。
製造業	焼酎製造業	小林	原材料の安定確保、物価高対策。
小売業	石油小売	小林	金利の値下げが必要である。人件費の上昇はわかるが、中小企業の経営の現状を考慮した対策を考えてもらいたい。
製造業	きのこ生産、健康食品の製造販売	小林	中東情勢の安定化に取り組んでいただきたい。